※※2005年７月改訂（第3版：薬事法改正に伴う改訂）（＿＿：改訂箇所）
※2003年７月改訂（第2版）

静注用フローラン®0.5mg
静注用フローラン®1.5mg
専用溶解液

※※規制区分：**処方せん医薬品**
（注意－医師等の処方せんにより使用すること）
貯　　法：室温保存
使用期限：包装に表示

静注用フローランの警告、禁忌、効能・効果、用法・用量、相互作用、副作用等の使用上の注意については、製品添付文書をご参照下さい。

※【組成・性状】

添加物（1バイアル中）	グリシン（94mg）、塩化ナトリウム、水酸化ナトリウム（pH調節剤）
性状	本剤は無色澄明の液である。 pH：10.2～10.8

【使用上の注意】

1．重要な基本的注意

本剤は、静注用フローランの溶解のみに使用すること。
＜参考：注射液の調製法の例示＞
静注用フローランの調製には必ず本溶解液を用い、下表を参考に調製する。

調製する注射液の濃度（ng/mL）	凍結乾燥品（エポプロステノール0.5mg）バイアル数（本）	凍結乾燥品（エポプロステノール1.5mg）バイアル数（本）	専用溶解液（50mL）バイアル数（本）
5,000	1		2
10,000	1 2		1 2
15,000		1	2
20,000	1	1	2
30,000		1 2	1 2
40,000	2	2	2
50,000	1	3	2

フローラン（0.5mg/1.5mg）バイアル数（本）	専用溶解液（50mL）バイアル数（本）	調　製　方　法
1	1	専用溶解液（50mL）1本より4mLを注射筒を用いて正確に取り、本剤バイアル内に注入し、溶解した液の全量を再び専用溶解液1本に戻す。
1	2	専用溶解液（50mL）2本より2mLずつ注射筒を用いて合計4mLを正確に取り、本剤バイアル内に注入する。 溶解した液を全て注射筒内にとり、正確に2mLずつ専用溶解液2本に戻す。
2	2	専用溶解液（50mL）2本より2mLずつ注射筒を用いて合計4mLを正確に取り、本剤バイアル内に2mLずつ注入する。溶解した液を全て注射筒内にとり、正確に2mLずつ専用溶解液2本に戻す。
3	2	専用溶解液（50mL）2本より1.5mLずつ注射筒を用いて合計3mLを正確に取り、本剤バイアル内に1mLずつ注入する。溶解した液を全て注射筒内にとり、正確に1.5mLずつ専用溶解液2本に戻す。
4	2	専用溶解液（50mL）2本より2mLずつ注射筒を用いて合計4mLを正確に取り、本剤バイアル内に1mLずつ注入する。溶解した液を全て注射筒内にとり、正確に2mLずつ専用溶解液2本に戻す。

2．適用上の注意

（1） 調製時：
1）無色澄明に溶解しなかったものは、使用しないこと。
2）本剤は保存剤を含まないため、残液は廃棄すること。
（2） 調製後溶液の保存及び取扱い：
1）調製後は溶液中の有効成分が徐々に分解するため、調製後すぐに投与開始しない場合は溶液を冷蔵保存すること。
2）冷蔵保存する場合は調製後24時間以内に投与開始することが望ましい。また、40時間を超えて冷蔵保存しないこと。
3）本剤及び調製後溶液を凍結させないこと。凍結した場合には、溶解後も使用しないこと。
4）調製後溶液は投与開始前の冷蔵保存の有無に関わらず、室温では8時間以内に投与を終了すること。また、投与中は遮光することが望ましい。
5）一旦投与を開始した溶液の残液は使用しないこと。

【包　　装】

50mL　5バイアル

※【資料請求先】

グラクソ・スミスクライン株式会社
〒151-8566 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-6-15
カスタマー・ケア・センター
TEL：0120-561-007（9:00～18:00/土日祝日を除く）
FAX：0120-561-047（24時間受付）

GlaxoSmithKline
グラクソ・スミスクライン株式会社
東京都渋谷区千駄ヶ谷 4－6－15
http://www.glaxosmithkline.co.jp

6FD0163

Ⓡ登録商標